



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年5月13日

上場会社名 株式会社ベルーナ 上場取引所 東
 コード番号 9997 URL <http://www.belluna.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安野 清
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長 (氏名) 安野 雄一郎 (TEL) 048-771-7753
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績(2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	206,499	14.8	15,734	52.6	16,872	62.8	11,036	88.3
2020年3月期	179,948	1.3	10,311	△14.1	10,365	△32.3	5,862	△43.3

(注) 包括利益 2021年3月期 12,242百万円(219.9%) 2020年3月期 3,827百万円(△57.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	114.17	—	10.3	7.3	7.6
2020年3月期	60.62	—	5.8	4.7	5.7

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 46百万円 2020年3月期 56百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	240,211	113,231	46.9	1,164.97
2020年3月期	223,128	102,525	45.7	1,054.14

(参考) 自己資本 2021年3月期 112,620百万円 2020年3月期 101,889百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	20,772	△5,185	△6,996	30,958
2020年3月期	6,624	△11,108	5,712	22,292

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00	1,546	26.4	1.5
2021年3月期	—	8.00	—	8.50	16.50	1,595	14.5	1.5
2022年3月期(予想)	—	9.50	—	9.50	19.00		14.7	

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	108,000	18.5	5,450	19.4	5,800	13.2	4,000	36.8	41.38
通期	246,000	19.1	17,500	11.2	18,200	7.9	12,500	13.3	129.31

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	97,244,472株	2020年3月期	97,244,472株
② 期末自己株式数	2021年3月期	571,852株	2020年3月期	587,369株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	96,666,782株	2020年3月期	96,705,654株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年3月期の個別業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	129,198	22.2	9,932	77.5	10,946	79.5	7,441	110.6
2020年3月期	105,738	△2.0	5,595	△22.1	6,098	△40.3	3,533	△50.7
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年3月期	76.98		—					
2020年3月期	36.54		—					

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	213,733	83,656	39.1	865.36
2020年3月期	196,997	75,965	38.6	785.93

(参考) 自己資本 2021年3月期 83,656百万円 2020年3月期 75,965百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を背景に、インバウンド需要の減少や国内外における経済活動の停滞が起きており、未だ先行き不透明な状況が続いております。国内の個人消費につきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴う失業率の上昇や所得環境の悪化に加え、外出自粛やイベントの縮小・中止、大型商業施設での時短営業などによる落ち込みが続いており、個人消費が回復するには一定の時間を要すると考えられます。通信販売業界におきましては、電子商取引（EC）による市場の拡大に加え、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や接触回避など生活様式が変化した影響により、幅広い顧客層からの需要が高まり、利用拡大が進みました。

このような環境下におきまして、当社グループは引き続き主力4事業（総合通販事業・専門通販事業・店舗販売事業・プロパティ事業）の強化に取り組んで参りました。その結果、当連結会計年度の売上高は206,499百万円（前年同期比14.8%増）となり、営業利益は15,734百万円（同52.6%増）となりました。経常利益は、助成金収入の増加や資金調達に係る手数料が前年同時期より縮小したことなどにより16,872百万円（同62.8%増）となりました。また、固定資産売却益などにより、親会社株主に帰属する当期純利益は11,036百万円（同88.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

〔総合通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、雑貨類やホームウェアを中心に巣ごもり消費などの通販需要が高まったことに加え、積極的な広告宣伝を行った結果、売上高は89,675百万円（同22.2%増）となり、セグメント利益は5,309百万円（同209.9%増）となりました。

〔専門通販事業〕

新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、看護師向け通販事業及びグルメ・ワイン事業を中心に好調に推移し、売上高は64,909百万円（同30.4%増）となり、セグメント利益は6,907百万円（同76.8%増）となりました。

〔店舗販売事業〕

新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたディベロッパーの方針による営業時間短縮や臨時休業の影響により、売上高は24,276百万円（同20.1%減）となり、セグメント損失は1,612百万円（前年同期は310百万円のセグメント利益）となりました。

〔ソリューション事業〕

通販代行サービス及び封入・同送サービスが共に好調に推移したことに加え、JOBSTUDIO PTE. LTD. を新たに連結グループに加えたことなどにより、売上高は10,676百万円（同28.2%増）となり、セグメント利益は3,033百万円（同14.4%増）となりました。

〔ファイナンス事業〕

国内消費者金融事業の貸付金残高が前年同期間に比べ増加していることに加え、新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑み広告宣伝を抑制したことなどにより、売上高は4,617百万円（同5.0%増）となり、セグメント利益は2,445百万円（同30.5%増）となりました。

〔プロパティ事業〕

ホテル事業において、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた行政機関による日本国内における移動制限の影響や外国人の入国規制の影響により、売上高は6,983百万円（同19.6%減）となり、セグメント利益は6百万円（同99.0%減）となりました。

〔その他の事業〕

衣装レンタル事業を展開する㈱マイムにおいて、前年同時期と比較し、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキャンセルが縮小し黒字化したことなどにより、売上高は6,281百万円(同5.7%増)となり、セグメント利益は73百万円(前年同期は392百万円のセグメント損失)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末比11,851百万円増加し、115,534百万円となりました。これは主に、現金及び預金が7,990百万円、商品及び製品が1,096百万円、その他流動資産が1,772百万円増加したことによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末比5,231百万円増加し、124,677百万円となりました。これは主に、建物及び構築物が1,027百万円減少した一方で、建設仮勘定が6,334百万円、投資有価証券が2,220百万円増加したことによるものであります。この結果、資産合計は、前連結会計年度末比17,083百万円増加し、240,211百万円となりました。

(負債)

当連結会計年度末における流動負債は、前連結会計年度末比5,510百万円増加し、55,645百万円となりました。これは主に、短期借入金が6,137百万円減少した一方で、支払手形及び買掛金が4,025百万円、未払法人税等が3,758百万円、未払費用が3,301百万円増加したことによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末比866百万円増加し、71,334百万円となりました。これは主に、長期借入金が1,023百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は、前連結会計年度末比6,377百万円増加し、126,980百万円となりました。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末比10,706百万円増加し、113,231百万円となりました。この結果、自己資本比率は46.9%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比8,666百万円増の30,958百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による資金の増加は、20,772百万円（前年同期は6,624百万円の増加）となりました。主な減少要因は、棚卸資産の増加1,092百万円、販売用不動産の増加1,228百万円、法人税等の支払額3,403百万円などです。一方で、税金等調整前当期純利益17,743百万円、減価償却費3,321百万円、仕入債務の増加3,719百万円などが主な増加要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、5,185百万円（前年同期は11,108百万円の減少）となりました。主な増加要因は、定期預金の払戻による収入1,370百万円、有形固定資産売却に係る収入2,253百万円、投資有価証券の売却による収入1,350百万円などです。一方で、有形固定資産の取得による支出7,827百万円、などが主な減少要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、6,996百万円（前年同期は5,712百万円の増加）となりました。主な増加要因は、長期借入れによる収入7,732百万円などです。一方で、短期借入金の減少6,328百万円、長期借入金の返済による支出6,493百万円、配当金の支払額1,546百万円などが主な減少要因であります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率	47.4	47.1	46.7	45.7	46.9
時価ベースの自己資本比率	45.2	62.6	39.0	20.8	52.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	6.5	7.2	8.2	11.9	3.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	66.4	56.5	52.6	35.5	103.8

自己資本比率：自己資本／純資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

（注1）いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

（注3）キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

（注4）有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチンへの期待感が高まる一方、足元では感染拡大の脅威は継続しており経済活動の停滞長期化が懸念されるなど先行きは依然として不透明な状況にあります。国内の個人消費につきましても、新型コロナウイルス感染拡大の影響は当面継続する可能性が高く、消費マインドの回復には一定の期間を要すると考えられます。通信販売業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による消費者の生活様式や購買志向の変化による需要拡大が継続すると思われま

す。このような環境の下、当社グループにおきましては、総合通販事業・専門通販事業を中心に、消費者の需要変化を機会と捉え、新たな商品及びサービスの投入と販促強化を進め、顧客満足を創出することによる顧客数拡大・事業成長の実現を目指して参ります。また、店舗事業・プロパティ事業におきましては、行政機関による新型コロナウイルス感染拡大防止方針・施策に則り運営を行うと共に、収益性を重視した運営に努めて参ります。

次期連結業績予測については、売上高は246,000百万円、営業利益は17,500百万円、経常利益は18,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は12,500百万円となる見通しです。現在の見通しには、潜在的なリスクや不確実性を含んでおり、本資料発表時点で想定しうる影響額及び足元の状況を織り込んでおりますが、これらの見通しとは異なる結果になる可能性があります。今後、新たに業績見通しの変動する場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、今後につきましては、外国人株主比率の推移及び国内の同業他社の国際会計基準の適用動向等を踏まえ、国際会計基準の適用について検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,788	30,778
受取手形及び売掛金	9,391	10,242
営業貸付金	27,314	26,892
有価証券	486	182
商品及び製品	20,910	22,006
原材料及び貯蔵品	1,403	1,410
販売用不動産	3,385	3,385
仕掛販売用不動産	8,591	9,519
その他	10,009	11,782
貸倒引当金	△598	△665
流動資産合計	103,683	115,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	49,569	49,893
減価償却累計額	△20,385	△21,737
建物及び構築物(純額)	29,183	28,156
機械装置及び運搬具	9,955	9,963
減価償却累計額	△1,976	△2,477
機械装置及び運搬具(純額)	7,979	7,486
工具、器具及び備品	4,275	4,548
減価償却累計額	△2,505	△2,838
工具、器具及び備品(純額)	1,770	1,709
土地	43,849	43,038
リース資産	359	391
減価償却累計額	△213	△280
リース資産(純額)	145	110
建設仮勘定	5,722	12,056
有形固定資産合計	88,651	92,558
無形固定資産		
のれん	2,689	1,988
リース資産	576	579
その他	8,561	8,337
無形固定資産合計	11,827	10,904
投資その他の資産		
投資有価証券	11,094	13,314
長期貸付金	1,763	1,770
破産更生債権等	187	221
繰延税金資産	1,897	1,371
その他	4,677	5,166
貸倒引当金	△653	△631
投資その他の資産合計	18,966	21,213
固定資産合計	119,445	124,677
資産合計	223,128	240,211

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,225	22,250
短期借入金	12,046	5,909
未払費用	10,442	13,743
リース債務	322	235
未払法人税等	1,148	4,907
賞与引当金	742	883
返品調整引当金	71	79
ポイント引当金	480	549
その他	6,655	7,085
流動負債合計	50,135	55,645
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	55,774	56,797
利息返還損失引当金	732	584
リース債務	407	459
退職給付に係る負債	249	251
役員退職慰労引当金	252	249
資産除去債務	1,212	1,150
修繕引当金	5	35
その他	1,833	1,806
固定負債合計	70,467	71,334
負債合計	120,602	126,980
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,612	10,612
資本剰余金	10,954	10,954
利益剰余金	85,177	94,667
自己株式	△491	△481
株主資本合計	106,253	115,752
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	147	1,975
土地再評価差額金	△7	△7
為替換算調整勘定	△4,419	△5,028
退職給付に係る調整累計額	△83	△72
その他の包括利益累計額合計	△4,363	△3,132
非支配株主持分	636	611
純資産合計	102,525	113,231
負債純資産合計	223,128	240,211

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	179,948	206,499
売上原価	74,908	84,935
売上総利益	105,040	121,564
返品調整引当金戻入額	94	71
返品調整引当金繰入額	71	79
差引売上総利益	105,062	121,556
販売費及び一般管理費	94,751	105,821
営業利益	10,311	15,734
営業外収益		
受取利息	117	59
受取配当金	274	547
受取賃貸料	36	37
支払不要債務益	34	25
受取補償金	82	114
為替差益	-	59
助成金収入	10	371
デリバティブ評価益	-	2
投資事業組合運用益	118	4
その他	383	394
営業外収益合計	1,058	1,616
営業外費用		
支払利息	187	201
支払手数料	452	103
為替差損	155	-
デリバティブ評価損	67	-
減価償却費	19	21
店舗閉鎖損失	32	81
その他	87	69
営業外費用合計	1,004	478
経常利益	10,365	16,872

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
特別利益		
固定資産売却益	-	1,227
投資有価証券売却益	224	265
受取和解金	88	-
特別利益合計	312	1,493
特別損失		
固定資産売却損	-	17
固定資産除却損	67	17
減損損失	60	189
投資有価証券評価損	973	-
投資有価証券償還損	19	42
関係会社株式評価損	-	244
抱合せ株式消滅差損	-	46
和解金	-	64
特別損失合計	1,121	622
税金等調整前当期純利益	9,557	17,743
法人税、住民税及び事業税	3,799	6,999
法人税等調整額	△90	△275
法人税等合計	3,709	6,723
当期純利益	5,848	11,019
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△13	△16
親会社株主に帰属する当期純利益	5,862	11,036

連結包括利益計算書

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益	5,848	11,019
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△525	1,827
土地再評価差額金	0	-
為替換算調整勘定	△1,473	△616
退職給付に係る調整額	△22	11
その他の包括利益合計	△2,020	1,223
包括利益	3,827	12,242
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,894	12,267
非支配株主に係る包括利益	△67	△24

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,612	10,954	80,816	△167	102,215
当期変動額					
剰余金の配当			△1,501		△1,501
親会社株主に帰属する 当期純利益			5,862		5,862
自己株式の取得				△323	△323
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	4,360	△323	4,037
当期末残高	10,612	10,954	85,177	△491	106,253

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	672	△7	△2,988	△61	△2,385	703	100,533
当期変動額							
剰余金の配当					—		△1,501
親会社株主に帰属する 当期純利益					—		5,862
自己株式の取得					—		△323
自己株式の処分					—		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△525	0	△1,431	△22	△1,978	△67	△2,045
当期変動額合計	△525	0	△1,431	△22	△1,978	△67	1,992
当期末残高	147	△7	△4,419	△83	△4,363	636	102,525

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,612	10,954	85,177	△491	106,253
当期変動額					
剰余金の配当			△1,546		△1,546
親会社株主に帰属する 当期純利益			11,036		11,036
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分				10	10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	9,489	10	9,499
当期末残高	10,612	10,954	94,667	△481	115,752

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	土地再評価 差額金	為替換算調整 勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括 利益累計額合計		
当期首残高	147	△7	△4,419	△83	△4,363	636	102,525
当期変動額							
剰余金の配当					—		△1,546
親会社株主に帰属する 当期純利益					—		11,036
自己株式の取得					—		△0
自己株式の処分					—		10
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	1,827	—	△608	11	1,231	△24	1,206
当期変動額合計	1,827	—	△608	11	1,231	△24	10,706
当期末残高	1,975	△7	△5,028	△72	△3,132	611	113,231

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	9,557	17,743
減価償却費	3,151	3,321
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△22	8
減損損失	60	189
のれん償却額	611	686
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	88	38
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△15	141
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△19	15
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△6	△3
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△12	68
利息返還損失引当金の増減額 (△は減少)	71	△148
修繕引当金の増減額 (△は減少)	5	29
受取利息及び受取配当金	△392	△607
支払利息	187	201
デリバティブ評価損益 (△は益)	67	△2
投資有価証券売却損益 (△は益)	△224	△265
投資有価証券評価損益 (△は益)	973	-
投資有価証券償還損益 (△は益)	19	42
関係会社株式評価損	-	244
為替差損益 (△は益)	245	△79
固定資産除却損	67	17
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△1,210
売上債権の増減額 (△は増加)	534	△846
営業貸付金の増減額 (△は増加)	△3,523	383
たな卸資産の増減額 (△は増加)	185	△1,092
販売用不動産の増減額 (△は増加)	△2,238	△1,288
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	527	△1,705
仕入債務の増減額 (△は減少)	926	3,719
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	672	3,461
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	54	△57
その他	1,110	676
小計	12,664	23,682
利息及び配当金の受取額	386	654
利息の支払額	△186	△200
法人税等の還付額	14	39
法人税等の支払額	△6,254	△3,403
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,624	20,772

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,332	△674
定期預金の払戻による収入	1,500	1,370
有価証券の取得による支出	△195	-
有価証券の売却による収入	961	-
有形固定資産の取得による支出	△9,438	△7,827
有形固定資産の売却による収入	0	2,253
無形固定資産の取得による支出	△716	△409
投資有価証券の取得による支出	△2,978	△522
投資有価証券の売却による収入	2,531	1,350
子会社株式の取得による支出	△1,220	-
貸付けによる支出	△55	△60
貸付金の回収による収入	21	68
差入保証金の差入による支出	△245	△676
差入保証金の回収による収入	103	141
その他の支出	△56	△220
その他の収入	11	19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,108	△5,185
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,180	△6,328
長期借入れによる収入	24,564	7,732
長期借入金の返済による支出	△17,734	△6,493
自己株式の取得による支出	△333	△0
配当金の支払額	△1,501	△1,546
リース債務の返済による支出	△464	△358
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,712	△6,996
現金及び現金同等物に係る換算差額	△286	72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	941	8,662
現金及び現金同等物の期首残高	21,351	22,292
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	-	3
現金及び現金同等物の期末残高	22,292	30,958

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、経営資源の有効活用によって様々なニーズに応えたサービスを展開する通信販売総合商社を目指して展開しております。当社グループは「総合通販事業」、「専門通販事業」、「店舗販売事業」、「ソリューション事業」、「ファイナンス事業」、「プロパティ事業」、「その他の事業」の7つを報告セグメントとしております。

なお、報告セグメントの主要な内容は下記のとおりであります。

- | | |
|---------------|---|
| (1) 総合通販事業 | 衣料品・生活雑貨・家具等生活関連商品の販売及び関連事業 |
| (2) 専門通販事業 | 食料品・化粧品・健康食品等の単品販売や、特定のお客様を対象として専門的に商品を販売している事業 |
| (3) 店舗販売事業 | 衣料品・和装関連商品等の店舗販売事業 |
| (4) ソリューション事業 | 受託業務事業(封入・同送サービス事業を含む)、人材紹介・派遣事業等 |
| (5) ファイナンス事業 | 消費者金融事業 |
| (6) プロパティ事業 | 不動産賃貸事業、不動産再生・開発事業、ホテル事業等 |
| (7) その他の事業 | 衣裳レンタル事業、卸売事業、ゴルフ場運営事業等 |

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益(のれん償却前)ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナ ンス事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	72,916	49,652	30,402	8,166	4,396	8,585	5,827	—	179,948
セグメント間の内部 売上高又は振替高	462	121	—	163	—	104	115	△968	—
計	73,378	49,774	30,402	8,330	4,396	8,690	5,943	△968	179,948
セグメント利益 (又は セグメント損失△)	1,713	3,906	310	2,652	1,874	658	△392	△410	10,311
セグメント資産	56,567	24,481	16,299	6,292	28,984	80,336	7,090	3,076	223,128
その他の項目									
減価償却費(注3)	1,147	402	366	96	33	1,003	128	—	3,178
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	611	611
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注3)	548	369	606	7	48	8,803	118	1,008	11,510

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益 (又はセグメント損失△) の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳200百万円とのれん償却費△611百万円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、当社の福利厚生施設386百万円、のれんの当期末残高2,689百万円でありま

す。

2. セグメント利益 (又はセグメント損失△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用にかかる償却額が含まれて

おります。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販 事業	専門通販 事業	店舗販売 事業	ソリュー ション 事業	ファイナ ンス事業	プロパティ 事業	その他の 事業	調整額 (注1)	連結財 務諸表 計上額 (注2)
売上高									
外部顧客への売上高	89,213	64,814	24,273	10,523	4,617	6,875	6,181	—	206,499
セグメント間の内部 売上高又は振替高	462	94	3	153	—	108	99	△920	—
計	89,675	64,909	24,276	10,676	4,617	6,983	6,281	△920	206,499
セグメント利益 (又は 損失△)	5,309	6,907	△1,612	3,033	2,445	6	73	△429	15,734
セグメント資産	64,358	28,689	13,528	7,385	28,700	88,976	6,201	2,371	240,211
その他の項目									
減価償却費(注3)	1,078	402	352	100	37	1,292	95	—	3,361
のれんの償却額	—	—	—	—	—	—	—	686	686
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額 (注3)	762	275	264	136	29	6,968	301	—	8,738

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

(1) セグメント利益 (又はセグメント損失△) の調整額は、セグメント間の連結消去仕訳256百万円とのれん償却費△686百万円であります。

(2) セグメント資産の調整額は、当社の福利厚生施設382百万円、のれんの当期末残高1,988百万円でありま

す。

2. セグメント利益 (又はセグメント損失△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

3. 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用と同費用にかかる償却額が含まれて

おります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
75,412	13,239	88,651

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	その他	合計
79,029	13,529	92,558

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	60	—	—	—	—	—	60

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	184	—	—	—	4	—	189

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—	611	611
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	2,689	2,689

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：百万円)

	総合通販事業	専門通販事業	店舗販売事業	ソリューション事業	ファイナンス事業	プロパティ事業	その他の事業	全社・消去	合計
当期償却額	—	—	—	—	—	—	—	686	686
当期末残高	—	—	—	—	—	—	—	1,988	1,988

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,054.14円	1,164.97円
1株当たり当期純利益金額	60.62円	114.17円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額	—円	—円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額(百万円)	5,862	11,036
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	5,862	11,036
期中平均株式数(千株)	96,705	96,666

(重要な後発事象)

該当事項はありません。